

宇佐山城址『御城印』

わがまち滋賀学区の歴史を知って頂く足がかりとして、志賀の陣・石垣の山城 宇佐山城址『御城印』を作成しました。二種類の『御城印』で一つは、最初の城主である森可成の家紋を実写の石垣の中央に、もう一つは最後の城主の明智光秀と織田信長の家紋を加えて、三武将の家紋をあしらった石垣の図のものです。それぞれにおもむきの違ったもので、波瀾万丈の武将達がこの地で戦いを想像しました。その歴史に想いを込めて一枚一枚押印しており同じものは一つもありません。

宇佐山城の歴史は滋賀の古城 坂本城・長浜城・安土城・大溝城より古く、学区内の誇れる歴史史跡と言えます。その宇佐山城三の丸(宇佐山テラス)からの眺めは、信長の天下統一の構想を練ったであろう風景にふさわしいと思われます。皆さまも志賀の山城 宇佐山城址に来て頂き、びわ湖を望みながら滋賀の歴史に思いを馳せてみて下さい。

御城印は滋賀学区まちづくり協議会と滋賀村プロジェクト・いいね滋賀が地域の活性化を目指して手掛けました。

